

ダイワ先進国リートα

為替ヘッジあり（毎月分配型）

為替ヘッジなし（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第90期（決算日 2020年1月14日）

第91期（決算日 2020年2月13日）

第92期（決算日 2020年3月13日）

第93期（決算日 2020年4月13日）

第94期（決算日 2020年5月13日）

第95期（決算日 2020年6月15日）

（作成対象期間 2019年12月14日～2020年6月15日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約10年間（2012年6月27日～2022年6月13日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－グローバル・リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、リート（不動産投資信託）への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5733>

<5734>

為替ヘッジあり (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
66期末(2018年1月15日)	6,115	80	△ 2.9	17,071	△ 3.6	—	98.8	6,763
67期末(2018年2月13日)	5,757	80	△ 4.5	16,178	△ 5.2	—	98.7	6,276
68期末(2018年3月13日)	5,780	80	1.8	16,562	2.4	—	98.8	6,147
69期末(2018年4月13日)	5,680	80	△ 0.3	16,509	△ 0.3	—	99.0	5,928
70期末(2018年5月14日)	5,767	80	2.9	17,388	5.3	—	98.3	5,868
71期末(2018年6月13日)	5,718	80	0.5	17,739	2.0	—	99.0	5,717
72期末(2018年7月13日)	5,670	80	0.6	18,232	2.8	—	98.3	5,554
73期末(2018年8月13日)	5,580	80	△ 0.2	18,155	△ 0.4	—	98.5	5,412
74期末(2018年9月13日)	5,512	80	0.2	18,425	1.5	—	98.6	5,170
75期末(2018年10月15日)	5,174	80	△ 4.7	17,258	△ 6.3	—	98.4	4,727
76期末(2018年11月13日)	5,290	80	3.8	18,158	5.2	—	98.5	4,863
77期末(2018年12月13日)	5,235	80	0.5	18,086	△ 0.4	—	99.2	4,613
78期末(2019年1月15日)	5,096	80	△ 1.1	17,829	△ 1.4	—	98.4	4,299
79期末(2019年2月13日)	5,157	80	2.8	19,054	6.9	—	98.0	4,228
80期末(2019年3月13日)	5,104	80	0.5	19,318	1.4	0.0	98.5	4,153
81期末(2019年4月15日)	5,105	50	1.0	19,863	2.8	—	98.7	4,088
82期末(2019年5月13日)	5,042	50	△ 0.3	19,683	△ 0.9	—	98.6	4,015
83期末(2019年6月13日)	5,059	50	1.3	20,084	2.0	—	98.8	3,881
84期末(2019年7月16日)	5,044	50	0.7	20,415	1.6	—	98.7	3,737
85期末(2019年8月13日)	4,993	50	△ 0.0	20,386	△ 0.1	—	99.1	3,603
86期末(2019年9月13日)	4,992	50	1.0	20,971	2.9	—	98.5	3,503
87期末(2019年10月15日)	5,006	50	1.3	21,434	2.2	—	98.7	3,461
88期末(2019年11月13日)	4,820	50	△ 2.7	20,998	△ 2.0	—	98.3	3,303
89期末(2019年12月13日)	4,741	50	△ 0.6	20,883	△ 0.5	—	98.4	3,135
90期末(2020年1月14日)	4,742	50	1.1	21,476	2.8	—	98.6	3,115
91期末(2020年2月13日)	4,803	50	2.3	22,275	3.7	—	98.1	3,127
92期末(2020年3月13日)	3,708	50	△ 21.8	16,895	△ 24.2	—	98.2	2,389
93期末(2020年4月13日)	3,654	50	△ 0.1	17,070	1.0	—	98.3	2,330
94期末(2020年5月13日)	3,413	50	△ 5.2	15,635	△ 8.4	—	98.4	2,171
95期末(2020年6月15日)	3,575	50	6.2	17,632	12.8	—	98.1	2,278

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

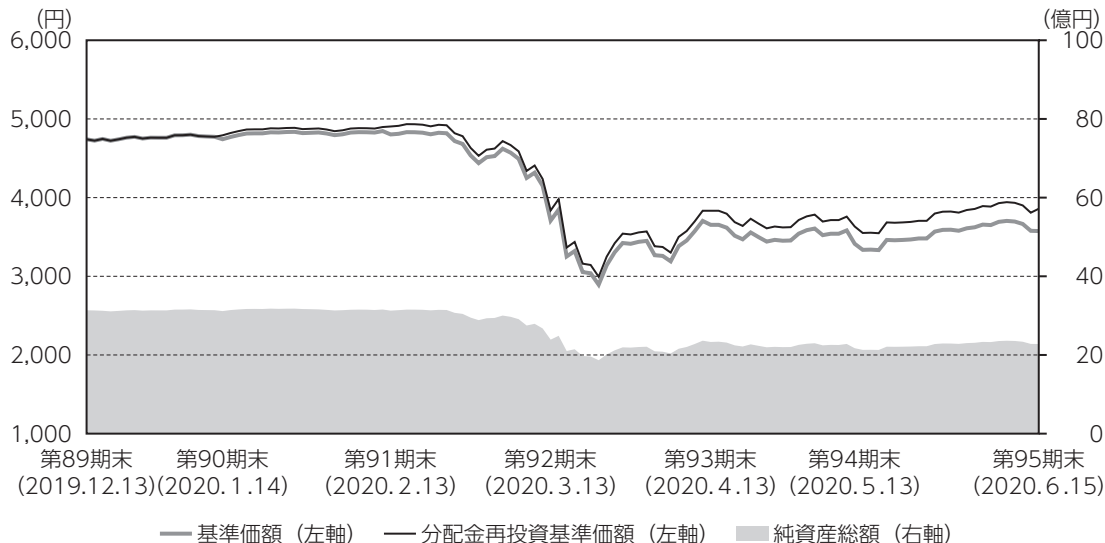
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第90期首：4,741円

第95期末：3,575円 (既払分配金300円)

騰落率：△18.6% (分配金再投資ベース)

■ 基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが下落したことがマイナス要因となり、下落しました。オプション取引については、現物リートは当作成期を通して見ると下落しました。下落期間より上昇期間の方が長く、下落期間におけるオプション要因のプラス効果より上昇期間でのマイナス要因の蓄積の方が大きくなったため、当作成期を通して見るとマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド (円ヘッジクラス)：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II グローバル・リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第90期	(期首) 2019年12月13日	円 4,741	% -	20,883	% -	% -	% 98.4
	12月末	4,792	1.1	21,303	2.0	-	97.9
	(期末) 2020年 1 月14日	4,792	1.1	21,476	2.8	-	98.6
第91期	(期首) 2020年 1 月14日	4,742	-	21,476	-	-	98.6
	1 月末	4,815	1.5	21,890	1.9	-	99.2
	(期末) 2020年 2 月13日	4,853	2.3	22,275	3.7	-	98.1
第92期	(期首) 2020年 2 月13日	4,803	-	22,275	-	-	98.1
	2 月末	4,536	△ 5.6	20,670	△ 7.2	-	98.2
	(期末) 2020年 3 月13日	3,758	△21.8	16,895	△24.2	-	98.2
第93期	(期首) 2020年 3 月13日	3,708	-	16,895	-	-	98.2
	3 月末	3,438	△ 7.3	15,654	△ 7.3	-	99.0
	(期末) 2020年 4 月13日	3,704	△ 0.1	17,070	1.0	-	98.3
第94期	(期首) 2020年 4 月13日	3,654	-	17,070	-	-	98.3
	4 月末	3,586	△ 1.9	16,834	△ 1.4	-	98.4
	(期末) 2020年 5 月13日	3,463	△ 5.2	15,635	△ 8.4	-	98.4
第95期	(期首) 2020年 5 月13日	3,413	-	15,635	-	-	98.4
	5 月末	3,592	5.2	16,984	8.6	-	98.3
	(期末) 2020年 6 月15日	3,625	6.2	17,632	12.8	-	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.12.14~2020.6.15)

■先進国リート市況

先進国リート市況は下落しました。

当作成期首から2020年2月中旬にかけては、米中通商協議で第1段階の合意に達し株式市場が堅調に推移したことや、主要各国において金利が低下したことなどを背景に、先進国リート市況はおおむね上昇基調で推移しました。2月下旬に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響懸念からリスク資産への売り圧力がかかり、先進国リート市況も急落しました。3月下旬以降は、世界各地の中央銀行や政府による金融・財政政策の発動や、ロックダウン（都市封鎖）の一部緩和の動き、世界的な経済活動の再開への期待感から、徐々に上昇基調に転じました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、シンガポールや米国などが相対的に堅調だった一方で、フランスやオランダなどの下落幅が大きくなりました。現地通貨建てのセクター別では、特殊用途施設や産業施設などが堅調だった一方で、ホテル/リゾートや商業施設などが低調でした。

■短期金利市況

日本では、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、F R B（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを合計1.50%ポイント引き下げ、0.00~0.25%としました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

世界経済には、さらなる成長余地があるとみています。背景として、F R B（米国連邦準備制度理事会）をはじめとする各国中央銀行による金融政策による下支えや、米中の通商協議の第1段階への原則合意、世界の鉱工業生産の安定化の兆候などが挙げられます。低い債券利回り、緩やかながらも堅調に推移している経済成長が、米国をはじめとした先進国のリート市場にとって好環境となっています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基つき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.12.14~2020.6.15)

■当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、参考指数であるS & P先進国REIT指数に対して産業施設や特殊用途施設などをオーバーウエートとし、商業施設やオフィス、ホテル/リゾートなどをアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景にシンガポールやフランス、オーストラリアなどをおおむねオーバーウエートで推移させ、日本や米国、香港などをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

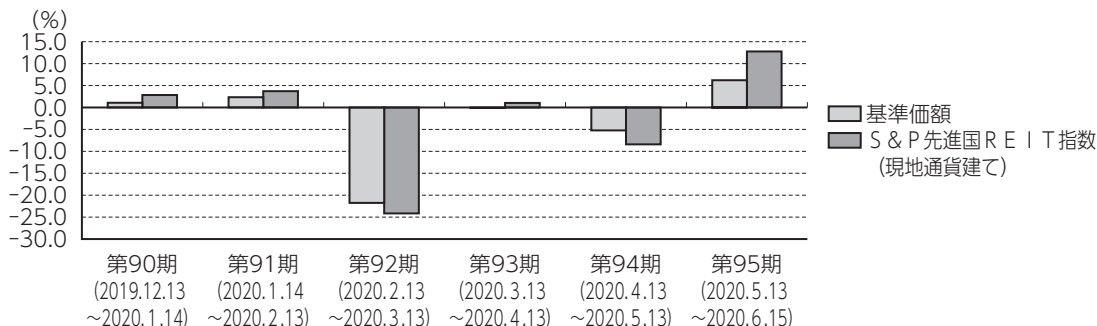
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2019年12月14日 ~2020年1月14日	2020年1月15日 ~2020年2月13日	2020年2月14日 ~2020年3月13日	2020年3月14日 ~2020年4月13日	2020年4月14日 ~2020年5月13日	2020年5月14日 ~2020年6月15日
当期分配金(税込み)(円)	50	50	50	50	50	50
対基準価額比率(%)	1.04	1.03	1.33	1.35	1.44	1.38
当期の収益(円)	44	47	38	49	46	42
当期の収益以外(円)	5	2	11	0	3	7
翌期繰越分配対象額(円)	839	836	825	824	820	813

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 44.23円	✓ 47.11円	✓ 38.81円	✓ 49.33円	✓ 46.16円	✓ 42.65円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	754.29	754.49	754.67	754.91	755.13	755.36
(d) 分配準備積立金	✓ 90.72	✓ 84.76	✓ 81.69	✓ 70.28	✓ 69.39	✓ 65.32
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	889.26	886.37	875.18	874.52	870.69	863.34
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	839.26	836.37	825.18	824.52	820.69	813.34

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

新型コロナウイルスの影響で、2020年上半期の世界GDP（国内総生産）成長率は大きく落ち込むと予想されますが、今後、新型コロナウイルスに関連する各種制限の緩和が進めば経済活動は急速に活発化すると見込まれ、2020年後半にはGDP成長率も改善する可能性があるかとみています。現在の超低金利環境はリート市場にとって追い風ですが、新型コロナウイルスによる店舗閉鎖や事業規模の大幅縮小に直面する商業施設やホテル／リゾートのテナントを中心とした賃料の滞納および減額への懸念があります。このため、これらのセクターの動向に注視していきます。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第90期～第95期 (2019.12.14～2020.6.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	28円	0.681%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,095円です。
(投 信 会 社)	(9)	(0.222)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(18)	(0.444)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	28	0.685	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

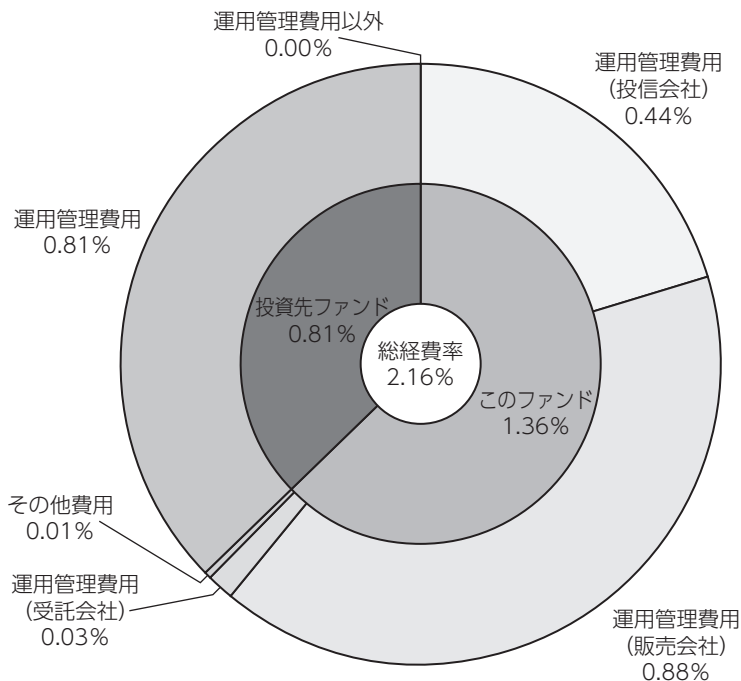
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.16%です。



総経費率 (①+②+③)	2.16%
①このファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.81%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年12月14日から2020年6月15日まで)

決算期	第 90 期 ~ 第 95 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国 (邦貨建)	5,190,27991	197,161	8,127,53376	314,051

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年12月14日から2020年6月15日まで)

第 90 期				~	第 95 期			
買 付		売 付		買 付		売 付		
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
	千□	千円	円		千□	千円	円	
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	313,21452	10,000	31	GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	8,127,53376	314,051	38	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	第 95 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千□	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	64,765,72437	2,235,000	98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第89期末	第 95 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	399	399

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月15日現在

項 目	第 95 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,235,000	% 96.6
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.0
コール・ローン等、その他	78,248	3.4
投資信託財産総額	2,313,648	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年1月14日)、(2020年2月13日)、(2020年3月13日)、(2020年4月13日)、(2020年5月13日)、(2020年6月15日)現在

項目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
(A) 資産	3,154,364,744円	3,169,323,444円	2,434,674,696円	2,364,699,405円	2,209,000,300円	2,313,648,552円
コール・ローン等	81,738,739	100,116,270	87,900,937	73,289,644	71,844,425	78,248,609
投資信託受益証券(評価額)	3,072,226,364	3,068,807,533	2,346,374,118	2,291,010,120	2,136,756,274	2,235,000,382
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	399,641	399,641	399,641	399,641	399,601	399,561
(B) 負債	39,298,532	42,143,498	45,115,183	34,451,957	37,244,733	34,743,534
未払収益分配金	32,846,116	32,554,476	32,224,576	31,888,231	31,816,745	31,873,032
未払解約金	2,716,776	6,043,843	9,587,930	-	2,824,000	-
未払信託報酬	3,713,017	3,501,220	3,238,983	2,484,871	2,509,729	2,759,199
その他未払費用	22,623	43,959	63,694	78,855	94,259	111,303
(C) 純資産総額(A-B)	3,115,066,212	3,127,179,946	2,389,559,513	2,330,247,448	2,171,755,567	2,278,905,018
元本	6,569,223,256	6,510,895,326	6,444,915,203	6,377,646,362	6,363,349,167	6,374,606,500
次期繰越増損金	△3,454,157,044	△3,383,715,380	△4,055,355,690	△4,047,398,914	△4,191,593,600	△4,095,701,482
(D) 受益権総口数	6,569,223,256口	6,510,895,326口	6,444,915,203口	6,377,646,362口	6,363,349,167口	6,374,606,500口
1万円当り基準価額(C/D)	4,742円	4,803円	3,708円	3,654円	3,413円	3,575円

* 第89期末における元本額は6,613,758,225円、当作成期間(第90期~第95期)中における追加設定元本額は108,423,771円、同解約元本額は347,575,496円です。

* 第95期末の計算口数当りの純資産額は3,575円です。

* 第95期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,095,701,482円です。

■損益の状況

第90期 自2019年12月14日 至2020年1月14日 第93期 自2020年3月14日 至2020年4月13日
 第91期 自2020年1月15日 至2020年2月13日 第94期 自2020年4月14日 至2020年5月13日
 第92期 自2020年2月14日 至2020年3月13日 第95期 自2020年5月14日 至2020年6月15日

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配当等収益	32,312,231円	32,166,761円	28,276,143円	33,963,508円	31,899,249円	27,749,922円
受取配当金	32,314,754	32,167,903	28,277,875	33,965,688	31,900,715	27,752,111
受取利息	10	1	1	54	46	2
支払利息	△ 2,533	△ 1,143	△ 1,733	△ 2,234	△ 1,512	△ 2,191
(B) 有価証券売買損益	4,786,866	43,681,208	△ 698,722,159	△ 33,868,527	△ 150,823,932	110,203,551
売買益	4,905,595	43,894,266	2,257,334	5,753,017	434,026	110,332,988
売買損	△ 118,729	△ 213,058	△ 700,979,493	△ 39,621,544	△ 151,257,958	△ 129,437
(C) 信託報酬等	△ 3,735,640	△ 3,522,556	△ 3,258,718	△ 2,500,032	△ 2,525,133	△ 2,776,383
(D) 当期損益金(A+B+C)	33,363,457	72,325,413	△ 673,704,734	△ 2,405,051	△ 121,449,816	135,177,090
(E) 前期繰越増損金	△2,813,418,680	△2,781,411,155	△2,707,938,724	△3,367,140,893	△3,383,250,250	△3,530,235,129
(F) 追加信託差損益金	△ 641,255,705	△ 642,075,162	△ 641,487,656	△ 645,964,739	△ 655,076,789	△ 668,770,411
(配当等相当額)	(495,515,946)	(491,245,691)	(486,382,729)	(481,457,911)	(480,516,792)	(481,515,631)
(売買損益相当額)	(△1,136,771,651)	(△1,133,320,853)	(△1,127,870,385)	(△1,127,422,650)	(△1,135,593,581)	(△1,150,286,042)
(G) 合計(D+E+F)	△3,421,310,928	△3,351,160,904	△4,023,131,114	△4,015,510,683	△4,159,776,855	△4,063,828,450
(H) 収益分配金	△ 32,846,116	△ 32,554,476	△ 32,224,576	△ 31,888,231	△ 31,816,745	△ 31,873,032
次期繰越増損金(G+H)	△3,454,157,044	△3,383,715,380	△4,055,355,690	△4,047,398,914	△4,191,593,600	△4,095,701,482
追加信託差損益金	△ 641,255,705	△ 642,075,162	△ 641,487,656	△ 645,964,739	△ 655,076,789	△ 668,770,411
(配当等相当額)	(495,515,946)	(491,245,691)	(486,382,729)	(481,457,911)	(480,516,792)	(481,515,631)
(売買損益相当額)	(△1,136,771,651)	(△1,133,320,853)	(△1,127,870,385)	(△1,127,422,650)	(△1,135,593,581)	(△1,150,286,042)
分配準備積立金	55,813,400	53,306,937	45,444,508	44,397,722	41,717,734	36,961,904
繰越増損金	△2,868,714,739	△2,794,947,155	△3,459,312,542	△3,445,831,897	△3,578,234,545	△3,463,892,975

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
(a) 経費控除後の配当等収益	29,058,470円	30,672,839円	25,017,419円	31,463,464円	29,374,105円	27,191,302円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	495,515,946	491,245,691	486,382,729	481,457,911	480,516,792	481,515,631
(d) 分配準備積立金	59,601,046	55,188,574	52,651,665	44,822,489	44,160,374	41,643,634
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	584,175,462	577,107,104	564,051,813	557,743,864	554,051,271	550,350,567
(f) 分配金	32,846,116	32,554,476	32,224,576	31,888,231	31,816,745	31,873,032
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	551,329,346	544,552,628	531,827,237	525,855,633	522,234,526	518,477,535
(h) 受益権総口数	6,569,223,256口	6,510,895,326口	6,444,915,203口	6,377,646,362口	6,363,349,167口	6,374,606,500口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
1 万 口 当 り 分 配 金	50円	50円	50円	50円	50円	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

為替ヘッジなし (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (円建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
66期末(2018年1月15日)	7,195	150	△ 3.6	22,560	△ 4.7	—	98.4	4,466
67期末(2018年2月13日)	6,574	150	△ 6.5	20,903	△ 7.3	—	98.1	4,034
68期末(2018年3月13日)	6,447	150	0.3	21,053	0.7	—	98.4	3,910
69期末(2018年4月13日)	6,390	100	0.7	21,135	0.4	—	97.9	3,866
70期末(2018年5月14日)	6,548	100	4.0	22,471	6.3	—	98.2	3,772
71期末(2018年6月13日)	6,534	100	1.3	23,070	2.7	—	98.4	3,745
72期末(2018年7月13日)	6,565	100	2.0	24,033	4.2	—	98.4	3,755
73期末(2018年8月13日)	6,353	100	△ 1.7	23,504	△ 2.2	—	96.7	3,045
74期末(2018年9月13日)	6,307	100	0.8	23,973	2.0	—	98.2	2,937
75期末(2018年10月15日)	5,969	100	△ 3.8	22,609	△ 5.7	—	98.1	2,759
76期末(2018年11月13日)	6,173	100	5.1	24,048	6.4	—	98.5	2,899
77期末(2018年12月13日)	6,115	70	0.2	23,855	△ 0.8	—	98.6	2,720
78期末(2019年1月15日)	5,781	70	△ 4.3	22,635	△ 5.1	—	98.2	2,607
79期末(2019年2月13日)	5,974	70	4.5	24,582	8.6	—	99.0	2,627
80期末(2019年3月13日)	5,986	70	1.4	25,110	2.1	0.0	99.0	2,575
81期末(2019年4月15日)	6,027	70	1.9	25,975	3.4	—	98.3	2,573
82期末(2019年5月13日)	5,825	70	△ 2.2	25,177	△ 3.1	—	98.5	2,423
83期末(2019年6月13日)	5,790	70	0.6	25,424	1.0	—	98.1	2,215
84期末(2019年7月16日)	5,759	70	0.7	25,743	1.3	—	98.2	2,211
85期末(2019年8月13日)	5,564	70	△ 2.2	24,997	△ 2.9	—	98.6	2,076
86期末(2019年9月13日)	5,670	70	3.2	26,313	5.3	—	98.6	2,063
87期末(2019年10月15日)	5,711	70	2.0	27,008	2.6	—	98.6	2,066
88期末(2019年11月13日)	5,528	70	△ 2.0	26,667	△ 1.3	—	98.5	1,989
89期末(2019年12月13日)	5,447	70	△ 0.2	26,616	△ 0.2	—	98.6	1,944
90期末(2020年1月14日)	5,462	70	1.6	27,520	3.4	—	98.4	1,930
91期末(2020年2月13日)	5,523	70	2.4	28,452	3.4	—	97.5	1,937
92期末(2020年3月13日)	4,040	70	△25.6	20,672	△27.3	—	97.5	1,363
93期末(2020年4月13日)	4,049	70	2.0	21,371	3.4	—	98.4	1,357
94期末(2020年5月13日)	3,738	70	△ 6.0	19,383	△ 9.3	—	98.4	1,209
95期末(2020年6月15日)	3,934	70	7.1	22,012	13.6	—	98.2	1,277

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国REIT指数(円建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P先進国REIT指数(円建て)の所有権およびその一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

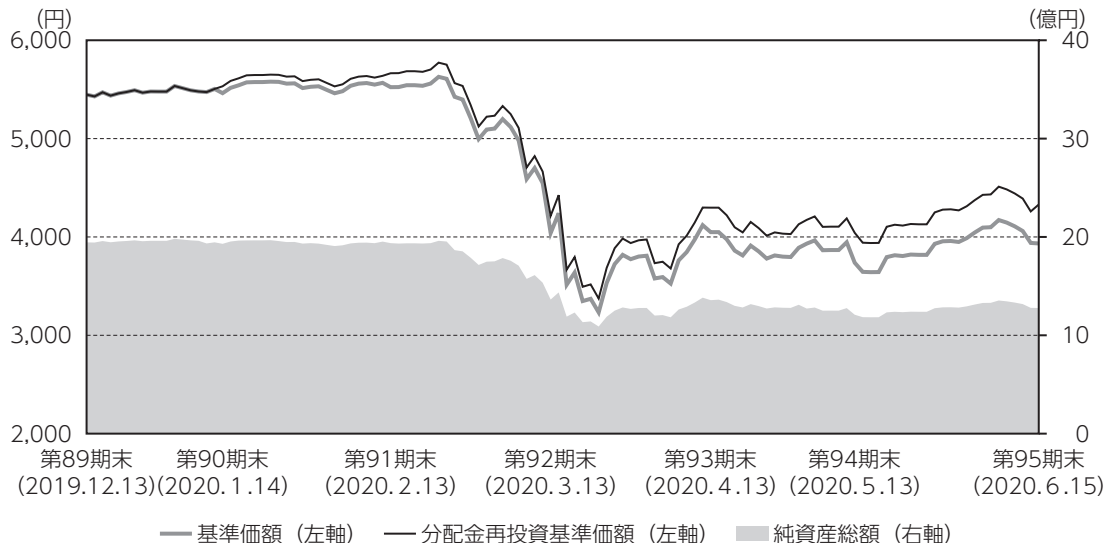
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第90期首：5,447円

第95期末：3,934円（既払分配金420円）

騰落率：△20.5%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが下落したことや為替相場において円高が進んだことがマイナス要因となり、下落しました。オプション取引については、現物リートは当作成期間を通して見ると下落しました。下落期間より上昇期間の方が長く、下落期間におけるオプション要因のプラス効果より上昇期間でのマイナス要因の蓄積の方が大きくなったため、当作成期間を通して見るとマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン） II グローバル・リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (円 建 指数 (参考指数) 騰 落 率)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	%	騰 落 率	騰 落 率		
第90期	(期首) 2019年12月13日	5,447	—	26,616	—	—	98.6
	12月末	5,535	1.6	27,249	2.4	—	97.2
	(期末) 2020年 1 月14日	5,532	1.6	27,520	3.4	—	98.4
第91期	(期首) 2020年 1 月14日	5,462	—	27,520	—	—	98.4
	1 月末	5,496	0.6	27,691	0.6	—	99.7
	(期末) 2020年 2 月13日	5,593	2.4	28,452	3.4	—	97.5
第92期	(期首) 2020年 2 月13日	5,523	—	28,452	—	—	97.5
	2 月末	5,208	△ 5.7	26,346	△ 7.4	—	97.9
	(期末) 2020年 3 月13日	4,110	△25.6	20,672	△27.3	—	97.5
第93期	(期首) 2020年 3 月13日	4,040	—	20,672	—	—	97.5
	3 月末	3,801	△ 5.9	19,501	△ 5.7	—	98.9
	(期末) 2020年 4 月13日	4,119	2.0	21,371	3.4	—	98.4
第94期	(期首) 2020年 4 月13日	4,049	—	21,371	—	—	98.4
	4 月末	3,932	△ 2.9	20,771	△ 2.8	—	98.5
	(期末) 2020年 5 月13日	3,808	△ 6.0	19,383	△ 9.3	—	98.4
第95期	(期首) 2020年 5 月13日	3,738	—	19,383	—	—	98.4
	5 月末	3,959	5.9	21,171	9.2	—	98.2
	(期末) 2020年 6 月15日	4,004	7.1	22,012	13.6	—	98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.12.14~2020.6.15)

■先進国リート市況

先進国リート市況は下落しました。

当作成期首から2020年2月中旬にかけては、米中通商協議で第1段階の合意に達し株式市場が堅調に推移したことや、主要各国において金利が低下したことなどを背景に、先進国リート市況はおおむね上昇基調で推移しました。2月下旬に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響懸念からリスク資産への売り圧力がかかり、先進国リート市況も急落しました。3月下旬以降は、世界各地の中央銀行や政府による金融・財政政策の発動や、ロックダウン（都市封鎖）の一部緩和の動き、世界的な経済活動の再開への期待感から、徐々に上昇基調に転じました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、シンガポールや米国などが相対的に堅調だった一方で、フランスやオランダなどの下落幅が大きくなりました。現地通貨建てのセクター別では、特殊用途施設や産業施設などが堅調だった一方で、ホテル/リゾートや商業施設などが低調でした。

■為替相場

対象通貨の為替相場は、米ドルの下落（円高）などによりポートフォリオ全体としては対円で下落しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から2020年2月中旬にかけて、米国の底堅い景気動向や米中通商協議の第1段階合意などが好感され、おおむね上昇基調で推移しました。2月下旬から当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、円高米ドル安が進みました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド (ノンヘッジクラス)

世界経済には、さらなる成長余地があるとみています。背景として、F R B (米国連邦準備制度理事会)をはじめとする各国中央銀行による金融政策による下支えや、米中の通商協議の第1段階への原則合意、世界の鉱工業生産の安定化の兆候などが挙げられます。低い債券利回りと、緩やかながらも堅調に推移している経済成長が、米国をはじめとした先進国のリート市場にとって好環境となっています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.12.14~2020.6.15)

■当ファンド

リートα・ファンド (ノンヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド (ノンヘッジクラス) への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド (ノンヘッジクラス)

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、参考指数であるS & P先進国REIT指数に対して産業施設や特殊用途施設などをオーバーウエートとし、商業施設やオフィス、ホテル/リゾートなどをアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景にシンガポールやフランス、オーストラリアなどをおおむねオーバーウエートで推移させ、日本や米国、香港などをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

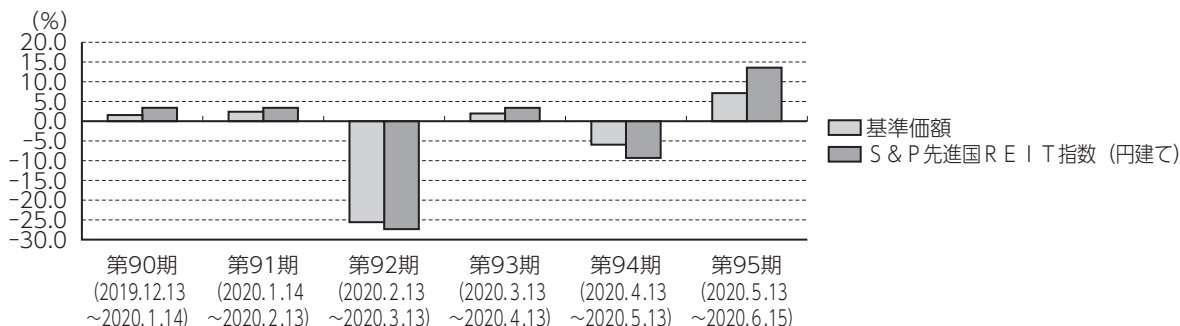
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2019年12月14日 ~2020年1月14日	2020年1月15日 ~2020年2月13日	2020年2月14日 ~2020年3月13日	2020年3月14日 ~2020年4月13日	2020年4月14日 ~2020年5月13日	2020年5月14日 ~2020年6月15日
当期分配金（税込み）（円）	70	70	70	70	70	70
対基準価額比率（%）	1.27	1.25	1.70	1.70	1.84	1.75
当期の収益（円）	64	65	57	66	60	52
当期の収益以外（円）	5	4	12	3	9	17
翌期繰越分配対象額（円）	1,452	1,448	1,435	1,431	1,421	1,404

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 64.31円	✓ 65.15円	✓ 57.24円	✓ 66.01円	✓ 60.35円	✓ 52.33円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 1,458.28	✓ 1,452.93	✓ 1,448.11	✓ 1,435.39	✓ 1,431.41	✓ 1,421.83
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,522.60	1,518.09	1,505.36	1,501.41	1,491.77	1,474.16
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,452.60	1,448.09	1,435.36	1,431.41	1,421.77	1,404.16

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

新型コロナウイルスの影響で、2020年上半期の世界GDP（国内総生産）成長率は大きく落ち込むと予想されますが、今後、新型コロナウイルスに関連する各種制限の緩和が進めば経済活動は急速に活発化すると見込まれ、2020年後半にはGDP成長率も改善する可能性があるかとみています。現在の超低金利環境はリート市場にとって追い風ですが、新型コロナウイルスによる店舗閉鎖や事業規模の大幅縮小に直面する商業施設やホテル／リゾートのテナントを中心とした賃料の滞納および減額への懸念があります。このため、これらのセクターの動向に注視していきます。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第90期～第95期 (2019.12.14～2020.6.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0.681%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,615円です。
(投 信 会 社)	(10)	(0.221)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.444)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	32	0.684	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

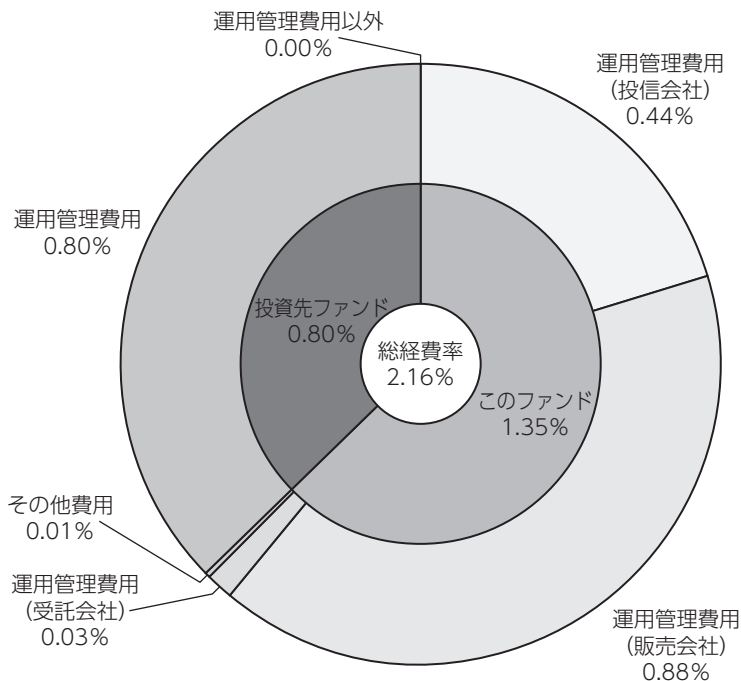
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.16%です。



総経費率 (①+②+③)	2.16%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.80%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2019年12月14日から2020年6月15日まで）

決算期	第 90 期 ～ 第 95 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	3,006.16658	154,992	6,038.25566	321,029

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注2）金額は受渡し代金。
（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2019年12月14日から2020年6月15日まで）

第 90 期				～	第 95 期			
買 付				売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
	千□	千円	円		千□	千円	円	
GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS（ケイマン諸島）	507.37369	22,000	43	GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS（ケイマン諸島）	6,038.25566	321,029	53	

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 95 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島）	千□	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS	26,906.29696	1,254,909	98.2

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第89期末	第 95 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	99	99

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月15日現在

項 目	第 95 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,254,909	% 96.4
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	46,896	3.6
投資信託財産総額	1,301,906	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年1月14日)、(2020年2月13日)、(2020年3月13日)、(2020年4月13日)、(2020年5月13日)、(2020年6月15日)現在

項目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
(A) 資産	1,981,978,885円	1,963,736,737円	1,414,303,602円	1,383,905,576円	1,233,260,765円	1,301,906,533円
コール・ローン等	81,933,293	75,417,269	85,190,477	48,347,673	43,257,844	46,896,953
投資信託受益証券(評価額)	1,899,945,682	1,888,219,558	1,329,013,215	1,335,457,993	1,189,903,021	1,254,909,690
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	99,910	99,910	99,910	99,910	99,900	99,890
(B) 負債	51,882,402	26,734,533	50,762,052	26,635,784	24,130,256	24,348,318
未払収益分配金	24,734,447	24,552,092	23,627,859	23,463,195	22,642,272	22,731,069
未払解約金	24,815,286	-	25,133,536	1,684,280	-	-
未払信託報酬	2,318,550	2,155,196	1,961,467	1,440,330	1,431,232	1,550,925
その他未払費用	14,119	27,245	39,190	47,979	56,752	66,324
(C) 純資産総額(A-B)	1,930,096,483	1,937,002,204	1,363,541,550	1,357,269,792	1,209,130,509	1,277,558,215
元本	3,533,492,541	3,507,441,835	3,375,408,523	3,351,885,083	3,234,610,317	3,247,295,611
次期繰越損益金	△1,603,396,058	△1,570,439,631	△2,011,866,973	△1,994,615,291	△2,025,479,808	△1,969,737,396
(D) 受益権総口数	3,533,492,541口	3,507,441,835口	3,375,408,523口	3,351,885,083口	3,234,610,317口	3,247,295,611口
1万口当り基準価額(C/D)	5,462円	5,523円	4,040円	4,049円	3,738円	3,934円

* 第89期末における元本額は3,570,031,426円、当作成期間(第90期~第95期)中における追加設定元本額は100,106,625円、同解約元本額は422,842,440円です。

* 第95期末の計算口数当りの純資産額は3,934円です。

* 第95期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,969,737,396円です。

■損益の状況

第90期 自2019年12月14日 至2020年1月14日 第93期 自2020年3月14日 至2020年4月13日
 第91期 自2020年1月15日 至2020年2月13日 第94期 自2020年4月14日 至2020年5月13日
 第92期 自2020年2月14日 至2020年3月13日 第95期 自2020年5月14日 至2020年6月15日

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配当等収益	24,494,806円	23,942,131円	21,296,890円	23,325,994円	20,963,891円	17,300,654円
受取配当金	24,496,969	23,942,763	21,298,157	23,327,682	20,965,069	17,301,932
受取利息	8	3	3	36	87	1
支払利息	△ 2,171	△ 635	△ 1,270	△ 1,724	△ 1,265	△ 1,279
(B) 有価証券売買損益	7,823,686	23,751,472	△ 496,199,549	4,907,581	△ 97,448,907	70,567,487
売買益	8,203,443	24,050,541	4,990,110	8,260,899	2,976,124	70,625,194
売買損	△ 379,757	△ 299,069	△ 501,189,659	△ 3,353,318	△ 100,425,031	△ 57,707
(C) 信託報酬等	△ 2,332,669	△ 2,168,322	△ 1,973,412	△ 1,449,119	△ 1,440,005	△ 1,560,580
(D) 当期損益金(A+B+C)	29,985,823	45,525,281	△ 476,876,071	26,784,456	△ 77,925,021	86,307,561
(E) 前期繰越損益金	△1,059,690,368	△1,036,088,665	△ 972,570,300	△1,451,566,532	△1,389,275,659	△1,484,207,763
(F) 追加信託差損益金	△ 548,957,066	△ 555,324,155	△ 538,792,743	△ 546,370,020	△ 535,636,856	△ 549,106,125
(配当等相当額)	(515,284,976)	(509,609,970)	(488,797,830)	(481,126,804)	(463,005,952)	(461,710,782)
(売買損益相当額)	(△1,064,242,042)	(△1,064,934,125)	(△1,027,590,573)	(△1,027,496,824)	(△ 998,642,808)	(△1,010,816,907)
(G) 合計(D+E+F)	△1,578,661,611	△1,545,887,539	△1,988,239,114	△1,971,152,096	△2,002,837,536	△1,947,006,327
(H) 収益分配金	△ 24,734,447	△ 24,552,092	△ 23,627,859	△ 23,463,195	△ 22,642,272	△ 22,731,069
次期繰越損益金(G+H)	△1,603,396,058	△1,570,439,631	△2,011,866,973	△1,994,615,291	△2,025,479,808	△1,969,737,396
追加信託差損益金	△ 550,964,638	△ 557,022,614	△ 543,097,124	△ 547,704,483	△ 538,755,242	△ 554,843,819
(配当等相当額)	(513,277,404)	(507,911,511)	(484,493,449)	(479,792,341)	(459,887,566)	(455,973,088)
(売買損益相当額)	(△1,064,242,042)	(△1,064,934,125)	(△1,027,590,573)	(△1,027,496,824)	(△ 998,642,808)	(△1,010,816,907)
繰越損益金	△1,052,431,420	△1,013,417,017	△1,468,769,849	△1,446,910,808	△1,486,724,566	△1,414,893,577

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
(a) 経費控除後の配当等収益	22,726,875円	22,853,633円	19,323,478円	22,128,732円	19,523,886円	16,993,375円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	515,284,976	509,609,970	488,797,830	481,126,804	463,005,952	461,710,782
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	538,011,851	532,463,603	508,121,308	503,255,536	482,529,838	478,704,157
(f) 分配金	24,734,447	24,552,092	23,627,859	23,463,195	22,642,272	22,731,069
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	513,277,404	507,911,511	484,493,449	479,792,341	459,887,566	455,973,088
(h) 受益権総口数	3,533,492,541口	3,507,441,835口	3,375,408,523口	3,351,885,083口	3,234,610,317口	3,247,295,611口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
1 万 口 当 り 分 配 金	70円	70円	70円	70円	70円	70円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド
円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス

当ファンド（ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年6月15日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2019年2月28日

	(円)
資産	
担保付スワップ投資の評価額（簿価： 18,248,608,982円）	10,485,042,165
デリバティブ金融商品の評価額	52,057,878
未収利息	1,806,042
約定未収金	-
資産合計	10,538,906,085
負債	
デリバティブ金融商品の評価額	52,726,131
未払報酬代行会社報酬	1,806,042
未払償還金	-
負債合計	54,532,173
償却可能受益証券の所有者に帰属する純資産	10,484,373,912
帰属先別純資産：	
ノンヘッジクラス受益証券	2,622,846,528
円ヘッジクラス受益証券	4,536,630,444
通貨セレクトクラス受益証券	3,248,761,961
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	41,038,550
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	35,096,429
発行済受益証券口数：	
ノンヘッジクラス受益証券	37,978,559
円ヘッジクラス受益証券	94,519,945
通貨セレクトクラス受益証券	99,403,264
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	742,575
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	617,846
受益証券一口当り純資産額：	
ノンヘッジクラス受益証券	69.061
円ヘッジクラス受益証券	47.997
通貨セレクトクラス受益証券	32.683
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	55.265
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	56.804

包括利益計算書

2019年2月28日に終了した年度

(円)

収益	
損益を通じて公正価値で測定される金融商品による純損益	
手数料収入	2,149,239,335
担保付スワップ投資による純損失	(882,830,010)
デリバティブ純利益	2,399,736
	<u>1,268,809,061</u>
収益合計	<u>1,268,809,061</u>
営業費用	65,280,245
営業費用合計	<u>65,280,245</u>
金融費用控除前営業利益	1,203,528,816
償還可能受益証券の保有者への分配金	(2,083,959,090)
分配金支払後の償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の変動	<u><u>(880,430,274)</u></u>

デリバティブ金融商品 (為替先渡契約)

決済日	契約数	受取 (評価益) (円)	支払 (評価損) (円)	(純) 評価額 (円)
2019年3月19日	6	43,474,096	(13,367,863)	30,106,233
2019年3月20日	26	8,583,782	(39,358,268)	(30,774,486)
(純) 評価額		<u>52,057,878</u>	<u>(52,726,131)</u>	<u>(668,253)</u>

<補足情報>

当ファンド（ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第95期の決算日（2020年6月15日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年12月14日～2020年6月15日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年6月15日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第10期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

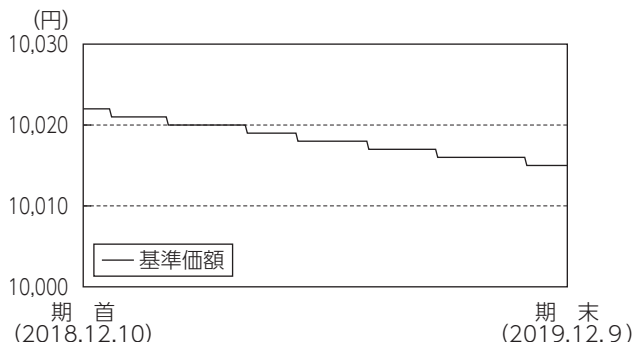
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,022	-	-
12月末	10,022	0.0	-
2019年 1 月末	10,021	△0.0	-
2 月末	10,020	△0.0	-
3 月末	10,020	△0.0	-
4 月末	10,019	△0.0	-
5 月末	10,018	△0.0	-
6 月末	10,018	△0.0	-
7 月末	10,017	△0.0	-
8 月末	10,017	△0.0	-
9 月末	10,016	△0.1	-
10 月末	10,016	△0.1	-
11 月末	10,015	△0.1	-
(期末)2019年12月 9 日	10,015	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,022円 期末：10,015円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	250,003	(250,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
801	国庫短期証券 2019/3/18 250,003		

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	103,888,808	100.0
投資信託財産総額	103,888,808	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	103,888,808,252円
コール・ローン等	103,888,808,252
(B) 負債	200,442,764
未払解約金	200,000,000
その他未払費用	442,764
(C) 純資産総額(A - B)	103,688,365,488
元本	103,532,314,258
次期繰越損益金	156,051,230
(D) 受益権総口数	103,532,314,258口
1口当たり基準価額(C / D)	10,015円

* 期首における元本額は40,969,233,796円、当作成期間中における追加設定元本額は198,584,973,661円、同解除元本額は136,021,893,199円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック - 947,268円、ダイワ/ミレニアム・インド株ファンド - インドの匠 - 29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 995,814円、iFreeレバレッジN A S D A Q 100 29,943,109円、米国4資産リスク分散ファンド (年2回決算型) 658,945円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,526,781,327円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス6,932,995,956円、ダイワ上場投信-T O P I Xレバレッジ (2倍) 指数1,154,855,756円、ダイワ上場投信-T O P I Xダブルインパース (-2倍) 指数1,136,478,065円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス46,620,451,844円、ダイワ上場投信-T O P I Xインパース (-1倍) 指数10,870,537,799円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス413,400,603円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス811,328,174円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス401,731,588円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,289,387,976円、ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用) 10,596,789,950円、低リスク型アロケーションファンド (金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L T

リード-186,241,301円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の橋音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ339,840,055円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ8,383,335円、低リスク型アロケーションファンド (適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国/バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国/バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレニアム・細細並株ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,711円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアム・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,015円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 46,990,800円
受取利息	413,173
支払利息	△ 47,403,973
(B) その他費用	△ 10,190,474
(C) 当期損益金(A + B)	△ 57,181,274
(D) 前期繰越損益金	90,073,869
(E) 解約差損益金	△254,373,622
(F) 追加信託差損益金	377,532,257
(G) 合計(C + D + E + F)	156,051,230
次期繰越損益金(G)	156,051,230

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。